

# 「スーパーシティ」構想について

---



- **AI及びビッグデータを活用し、社会のあり方を根本から変えるような都市設計の動きが、国際的には急速に進展**
  - 白地から未来都市を作り上げるグリーンフィールド型の取り組み（雄安、トロント等）
  - 既存の都市を造り変えようとするブラウンフィールド型の取組（ドバイ、シンガポール等）
- **先行している部分もあるが、世界各国でも、以下のような「まるごと未来都市」は、未だ実現していない**
  - エネルギー、交通などの個別分野にとどまらず生活全般にわたり、
  - 最先端技術の実証を一時的に行うのではなく暮らしに実装し、
  - 技術開発側・供給側の目線ではなく住民目線で未来社会の前倒し実現
- **我が国にも、必要な要素技術は、ほぼ揃っているが、実践する場がない**

## カナダ・トロント市の事例

- Google系列会社が行政と連携し、ありとあらゆる場所、ヒト・モノの動きをセンサーで把握し、ビッグデータを活用した都市設計が進行中

### ○モビリティに関する構想

- ・信号が絶えず人、自転車、車の動きを追跡
- ・公共の自動運転車、用途に応じて変化する道路



### ○建物・インフラに関する構想

- ・モジュール化されたパーツを組合せ、車を組立てるように建築
- ・共同溝の物流網化や公益サービス用の地下道ネットワーク



※住民の不安による混乱や遅滞も。

## 中国・杭州市の事例

- アリババ系列会社が行政と連携し、交通違反や渋滞対策にカメラ映像のAI分析を活用。ベンチャーによる無人コンビニも展開中

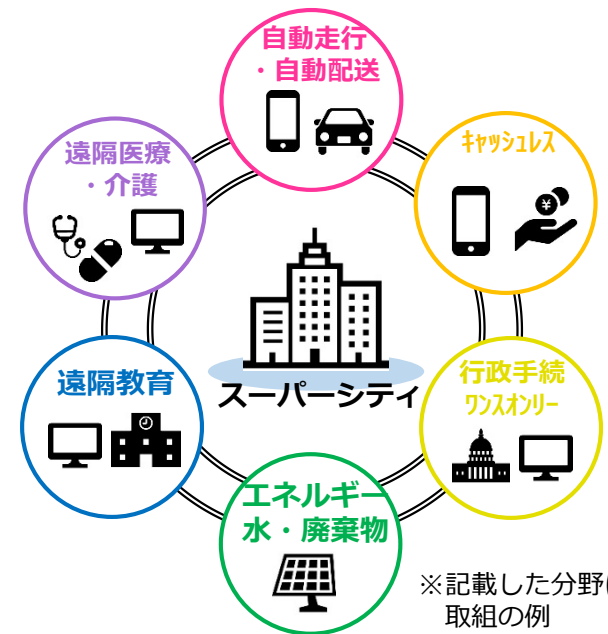
### ○交通違反や渋滞対策にAI分析を活用

- ・道路ライブカメラ映像をAIが自動で収集し、異常を認めた場合に警察へ自動通報（多い日で500件）
- ・交通状況に応じ信号機の点滅を自動で切り替え、一部地域で自動車走行速度が15%上昇



### ○無人コンビニの展開

- ・スマホアプリも必要としない顔認証でのキャッシュレス支払いが可能



国家戦略特区制度を活用しつつ  
住民と競争力のある事業者が協力し、  
世界最先端の日本型スーパーシティを実現